

はり供養祭特別講演会報告 2010

広島県の縫い針である広島針は藩主の浅野氏の奨励もあり 300 年の歴史があます。現在でも国内の縫い針のほぼ 100 %のシェアを占めています。鍼灸用針でも大宝医科工業があり、全国で使用されています。

関西では針供養は 12 月 8 日にありますが、広島では東京同様、2 月 8 日が一般的です。

今年は平成 22 年 2 月 7 日(日)にはり供養祭特別講演会が福山市にて開催されました。

このたびのはり供養祭にて(社)広島県鍼灸師会会長山崎正隆先生の挨拶と全員起立しての黙禱の後に特別講演会が開催され、明治国際医療大学の福田文彦准教授により「緩和医療と鍼灸ーがん治療の副作用に対する鍼灸治療ー」の講演が行われました。単なるターミナルケアにとどまらず、化学療法の副作用軽減、放射線療法の副作用軽減、手術後の副作用軽減の実技があり、悪心嘔吐、倦怠感、末梢神経傷害、口腔内乾燥、手術後疼痛症候群への治療は糖尿やシェーグレン、帯状疱疹後神経痛などに応用可能で日々の臨床に役立つ内容でした。参加者は 27 名と講師。盛会のうちに終了いたしました。



記

『はり供養祭特別講演会 2010』

【講演】『アトピー性皮膚炎、気管支喘息に対する鍼灸治療』講師：明治国際医療大学准教授 福田文彦先生

【日時】 平成 21 年 2 月 1 日 (日)

【内容】 1、10:00～10:10 開会式 2、10:10～12:00 講演 3、13:30～15:30 実技を含む講演 4、閉会式

【会場】 広島県福山市本町 1 番 3 5 号 福山市市民参画センター 4 F 第 1 会議室